



弥生っ子

令和8年10月1日
千葉市立弥生小学校
10月号

「体験活動を通して」

校長 高山 邦美

校庭にたくさんのトンボが飛び交い、秋の訪れを感じる季節となりました。夕方には虫の声が聞こえ、心地よい風が吹いています。先日、6年生と1泊2日の修学旅行に行きました。鎌倉大仏や長谷寺、鶴岡八幡宮を見学し、歴史ある鎌倉の町を散策しました。実際に見て、歩いて、感じる体験は、子供たちにとって貴重な学びになったことと思います。令和7年度からこのような形で修学旅行を実施していますが、今後も歴史や文化に直接触れる機会を大切に、子供たちの経験を豊かにしていきたいと考えています。今回の修学旅行では、3人の方のお話が特に心に残りました。一人目は添乗員さんです。「人との出会いを大切にしたい」という思いから、お別れの時には「さようなら」ではなく「またね」と声をかけているそうです。再会を願い、人とのつながりを大切にする姿勢に、心が温かくなりました。二人目は宿泊先のホテルで出迎えてくださったネパール出身のスタッフの方です。「日本はおもてなしの文化があるすてきな国です。日本で生活できてとても幸せです。」という言葉をお話してくださいました。改めて、日本のよさについて考える機会となりました。三人目はホテルの支配人の方です。「思いやりのある行動ができる人になってほしい。そして、その思いやりに気付ける人になってほしい。」と話してくださいました。旅先では、普段なかなか出会うことのない方々との交流があり、多くの学びがありました。また、班行動やレクリエーションを通して、友達と協力したり、お互いを思いやったりする姿もたくさん見られました。6年間ともに過ごしてきた仲間だからこそ、一人一人が友達にも自分にも優しく接することができるのだと思います。これまでの学習の積み重ねと、保護者の皆様のご支援に感謝申し上げます。

さて、10月には全校遠足があります。なかよし班ごとに活動し、6年生が中心となって遊びを計画します。高学年には、下学年を見守り支える役割もあります。異学年での活動を通して、集団で行動することの楽しさや思いやりの大切さを感じてほしいと思います。

また、各学年で校外学習も予定されています。体験活動を充実させるためには、事前学習が欠かせません。見学先について調べたり、学ぶ目的を考えたりすることで、当日の学びはさらに深まります。

そして、5・6年生は11月5日に青葉の森スポーツプラザ陸上競技場で行われる大会に向けて、陸上練習が始まります。体育の授業や放課後練習を通して準備を進めていきますので、ぜひ放課後の校庭で頑張る子供たちの姿をご覧ください。学習の秋、スポーツの秋、読書の秋、そして食欲の秋。さまざまな体験を通して、実り多い10月にしていきたいと考えています。

さて、間もなく前期が終了します。1年生25名を迎えてスタートした令和8年度も、半年が過ぎようとしています。1年生は学校生活に少しずつ慣れ、給食の準備や清掃など、自分たちでできることが増えてきました。また、どの学年も進級した喜びを力に変え、成長する姿が見られました。特に委員会活動では、各委員会が学校をよりよくするために主体的に活動してきました。朝の時間を活用し、保健委員会は健康について、運営委員会はあいさつについて、給食委員会は食についてなど、それぞれが工夫しながら全校へ呼びかけを行いました。学級でも、係活動に意欲的に取り組む姿や、授業に集中して学ぶ姿がたくさん見られました。子供たちは失敗しながらも、日々成長しています。こうして前期を終えることができるのも、保護者や地域の皆様の温かいご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。「あゆみ」を持ち帰りますので、お子様の頑張ったことやできるようになったことをたくさん認め、ほめていただければ幸いです。そして、その自信を後期の新たな目標へとつなげていただければと思います。10月から安心・安全を第一に、教育活動を進めてまいります。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。